

令和4年度自転車関連実施事業(案)

通学

○ 実現したい将来の姿

- ・ 子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
- ・ ルールをしっかりと理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
- ・ ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
- ・ 子どもの時から、自転車のことをしっかりと理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
- ・ 自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和4年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	事業名称	事業内容	
通学	安全教育	交通安全教育の継続・充実	行政 学校 警察	交通安全教室の実施	交通安全教室の実施。 受講者は交通ルールを学び、交通安全意識の高揚を図る。	豊橋市(安全生活課)
				200日間自転車無事故無違反ラリー	自転車の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的とし、豊橋市内の中学校・高校で200日間自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成した学校は表彰する。	豊橋警察署
				豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	●引き続き条例の周知を図っていくとともに、自転車の交通事故が多い世代である高校生の交通安全対策をより推進するため、市内の高等学校で交通安全モデル校を定め、行政・学校が一体となって交通事故削減のための取り組みを行う。 ※豊橋西高等学校が豊橋警察署の委嘱を受け、自転車安全利用モデル校に指定された。 今後の活動予定として、登下校時の自転車安全利用啓発活動や校内放送での自転車安全利用の声掛け、ラジオ放送での啓発活動の実施を予定。ヘルメット着用促進に向けた取り組みでは、学校全体でのヘルメット着用モニター生徒の募集、PTAと連携したヘルメット着用啓発の実施を予定。	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店
		指定通学路一斉点検の実施と対策の展開	行政 学校 警察	通学路一斉点検	2年に1度の通学路点検の中間年にあたるため、R3の通学路点検で各学校から出してもらった危険度・緊急度の高い箇所の対策を実施しており、今後、引き続き、対策できなかった箇所の対策を講じていく。	豊橋市(学校教育課、安全生活課、道路維持課)
		自転車に乗り続けることのメリットの周知・啓発	行政	-	-	-
		意識啓発	行政 学校 警察	自転車放置対策推進事業	駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行う。 無料駐輪場が乱雑にならないよう維持管理を継続する。 地下駐輪場の利用促進策の検討・実施を継続する。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社) 委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)、委託業者(蔦井株式会社)
		支援・補助	行政 学校	豊橋市ヘルメット購入補助金	ヘルメット利用啓発チラシ作成・配布を行う。 市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促す。	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店 市内の制服取扱店
		情報提供	行政 警察 企業 学校	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを周知する。	豊鉄バス
	自転車通行空間利用案内			自転車通行空間の整備箇所と自転車通行の原則や注意事項に関するチラシを市内の高校1年生へ配布する。	豊橋市(都市交通課)	
				サイクルトレインPR	●サイクルトレインをはじめ、サイクルピットや豊橋駅前の組立スペース、道の駅とよはしのレンタサイクルなど、サイクリストの受け入れ環境が分かるチラシやポスターを市内の自転車店、観光案内所等に配付し、利用環境を周知する。 A4チラシ12,000部 B2ポスター200部	豊橋市(都市交通課) 田原市 豊橋鉄道
			新しい生活様式での自転車の活用情報の提供	-	-	

通勤

○ 実現したい将来の姿

- ・ 企業自身が自転車通勤のメリットを理解し、積極的に従業員に対する利用啓発を展開します。
- ・ 毎日の通勤がリフレッシュや運動の時間になり、心も体も健康で明るく通勤しています。
- ・ 朝夕通勤時間帯の道路混雑が改善し、さらに自転車も車道を走りやすくなります。
- ・ 多くの企業が「健康経営」を実現し、働く場としての“とよはし”の魅力が高まります。
- ・ 働く世代の生活習慣病などの有病率が低下し、市の医療費負担も軽減されます。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和4年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	事業名称	事業内容	
通勤	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施・充実	行政 企業	交通安全教室の実施	交通安全教室を希望する市内の企業に対して実施する。受講者は交通ルールを学び、交通安全意識の高揚を図る。	豊橋市(安全生活課)
	意識啓発	企業での自転車活用促進に関する啓発	行政 企業	地域・職域連携推進事業 (とよはし健康マガジンの発行)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」に対し、市の施策や事業等に関する情報提供を行う電子マガジン「とよはし健康マガジン」にて、自転車利用促進に関する記事を掲載する。	豊橋市(健康政策課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
				健康経営推進事業 (とよはし健康宣言事業所認定制度)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」及び健康経営の取組を検討している企業に対し、とよはし健康宣言事業所に係る印刷物やホームページ等を用いて、健康経営の取組内容としてエコ通勤(徒歩、自転車や公共交通機関を利用した通勤)を推奨する。	豊橋市(健康政策課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
				環境マネジメントシステム推進事業	豊橋市エコアクションプラン(第6次)の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用しており、エコ通勤の実施日数を令和元年度比で3%増加するという目標を掲げている。今後も研修などを通じて、エコ通勤の普及に努める。	豊橋市(ゼロカーボンシティ推進課) 豊橋市役所の職員、会計年度任用職員、再任用職員
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の推進	行政 企業	自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	令和元年10月1日から加入が義務となっている自転車利用者の自転車損害賠償保険等について、それを包括している保険の新規加入・内容変更の募集案内を職員へ行い、保険料については給与から控除する団体扱いを行う。保険の加入状況等を考慮し判断する。	豊橋市(人事課)
				通勤手当の加算	通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行う。【平成27年度から、通勤距離区分の拡大及び手当額の引き上げを実施】	豊橋市(人事課)
	情報提供	企業と連携した健康効果の検証	行政 企業	自転車通勤切替による健康効果の検証	自転車通勤による健康効果を確認するため、山口大学と連携して、豊橋市役所職員の通勤手段と健康データの分析を行う。	豊橋市(都市交通課) 豊橋市(健康政策課) 山口大学
		安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	行政 企業	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)(再掲)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを周知する。	豊鉄バス
				サイクルトレインPR(再掲)	●サイクルトレインをはじめ、サイクルピットや豊橋駅前の組立スペース、道の駅とよはしのレンタサイクルなど、サイクリストの受け入れ環境が分かるチラシやポスターを市内の自転車店、観光案内所等に配付し、利用環境を周知する。 A4チラシ12,000部 B2ポスター200部	豊橋市(都市交通課) 田原市 豊橋鉄道
	新しい生活様式での自転車の活用情報の提供(再掲)	行政	コロナ禍における自転車通勤の推進	人との接触の低減となる自転車活用のため、企業に対して自転車通勤を促す。	豊橋市(都市交通課) 県境地域の事業所	

買物

○ 実現したい将来の姿

- ・ 子育て世代でも、高齢者でも、安心して自転車で買物に行けるようになります。
- ・ 店舗側も積極的に自転車を受け入れるようになり、気軽に使いやすくなります。
- ・ 気軽に自転車でも買物に出かけるようになり、店舗側にも顧客増加のメリットが生まれます。
- ・ 中心市街地にも、自転車で集まる人が増えて、まちなかのにぎわいがさらに高まります。
- ・ 電動アシスト付き自転車がさらに普及することで、重い荷物があるときでも、少し離れたお店に行きたいときでも自転車が利用でき、暮らしやすさが高まります。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和4年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	事業名称	事業内容	
買物	安全教育	店舗を通じた顧客対象の安全啓発	行政企業	-	-	-
		交通安全教育などの継続・充実(再掲)	行政警察	交通安全教室の実施	高齢者を対象とした、交通安全教室の実施 受講者は交通ルールを学び、交通安全意識の高揚を図る。	豊橋市(安全生活課)
		貸付・補助事業と連携し安全啓発の実施	行政	自転車安全利用の教育	令和4年度より新規貸出受付を終了し、令和3年度より継続して利用を希望する対象者に限り貸出を実施する。貸付時に約14分程の動画視聴で子どもの乗せ方や豊橋市自転車条例、損害賠償保険等について、安全教育を行うことで安全に対する意識を啓発する。	豊橋市(保育課) 豊橋市(安全生活課)
	意識啓発	買物交通を健康づくりの機会に活かす 自転車活用の周知	行政企業	サイクルピット維持管理	自転車利用環境の向上のため、市内23箇所に設置されたサイクルピットを維持管理する。	豊橋市(都市交通課) 市内コンビニ
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の実施 (再掲)	行政	三人乗り自転車貸出	三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出決定者に対し、安全生活課が配布しているヘルメット購入補助金のチラシを配布する。	豊橋市(保育課)
				高齢者運転免許自主返納 電動アシスト自転車購入補助	1年以内に運転免許証を自主返納した70歳以上の方に対して電動アシスト自転車の購入代金を補助することで、利用を促進する。	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・ 提供(再掲)	行政企業	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)(再掲)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを周知する。	豊鉄バス
				サイクルトレインPR(再掲)	●サイクルトレインをはじめ、サイクルピットや豊橋駅前の組立スペース、道の駅とよはしのレンタサイクルなど、サイクリストの受け入れ環境が分かるチラシやポスターを市内の自転車店、観光案内所等に配付し、利用環境を周知する。 A4チラシ12,000部 B2ポスター200部	豊橋市(都市交通課) 田原市 豊橋鉄道

○ 実現したい将来の姿

- ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
- ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
- ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
- ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和4年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	事業名称	事業内容	
レクリエーション・観光	安全教育	自転車イベントに合わせた安全教育の実施	行政 民間団体	自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	小学4年生から中学生を対象としたサイクリング体験。施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わうことができるチャレンジ体験を提供する。	豊橋市(生涯学習課少年自然の家)カントリーモーニング
	意識啓発	自転車を楽しむ機会の充実	行政 民間団体	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルを開催	道の駅とよはしを発着点とし、秋は豊川方面、春は渥美半島方面で計画。集客増を図るため、開催日数増の検討。6月開催予定の実行委員会、ワーキングを経て決定する。	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会 事務局:(一社)豊橋観光コンベンション協会豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋市スポーツ協会、豊橋総合動植物公園、豊橋みどりの協会 日本トータ、ヤマサちくわ、ユタカ産業、豊橋鉄道、豊橋信用金庫
				市民スポーツ祭2022【自転車】を開催	市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアル(400m、1km)を行う。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらう。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				第39回とよはし・チーム・ピストを開催	高校・大学の自転車競技部を除く町のレーシングチームを対象にトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。トラックレーサーの部のチームパーシュート、チームスプリント、ケイリン、スクラッチと、新たにロードレーサーの部のチームスプリント、タイムトライアルがある。アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多い。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟、(社)日本競輪選手会愛知支部
				第18回豊橋万場クリテリウムロードレース大会を開催	万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催する。クリテリウムとは一般交通から遮断された周回コースである。種目は4時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれている。未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しめる大会である。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市スポーツ協会、独立行政法人水資源機構
				とよはしサイクルマラソンを開催	この大会はレースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会である。豊橋競輪場をスタートし東栄町を往復する約122kmのコース。途中、四谷の千枚田や廃校になった神田小学校に立ち寄り、紅葉も楽しめる大会である。東栄町の協力による昼食も楽しんでもらう。	豊橋自転車競技協会、東栄町、新城市、(公財)豊橋市スポーツ協会
				令和4年度豊橋自転車競技大会の開催	昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図っている。1kmタイムトライアル、エリミネーション、2km速度競走、スクラッチ、ケイリンの種目があり、競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られる。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				令和4年度豊橋自転車競技大会春季記録会	コロナの状況や協会の他の大会の開催状況を見て検討する。	豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				カーフリーデーの開催	スポーツ電動アシストバイク(E-BIKE)の乗車体験を提供する。	豊橋市(都市交通課) 日本マウンテンバイク協会中部支部

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
 - ・ 自転車でまちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・ 自転車でまちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

災害

- 実現したい将来の姿
 - ・ 災害時の備えとして自転車を整備し、利用することで、日常での活用推進にもつながります。
 - ・ 備えを行うことで災害に対する意識が高まります。
 - ・ 災害時においても自転車での避難が可能となります。
 - ・ 発災後、自転車を活用することで、移動手段を増やすことができます。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和4年度実施予定事業						事業実施関係団体
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	事業名称	事業内容	
レクリエーション・観光	意識啓発	サイクリスト受入環境の向上	行政 企業	サイクルツーリズムの推進	レンタサイクルの運営(専属スタッフの配置)、サイクリング関係消耗品の販売や、他地域のサイクリングに関する情報収集及び発信や観光案内。サイクリストの誘客及び消費喚起を図るためのイベントを開催予定。	豊橋市(観光プロモーション課)、株式会社道の駅とよはし、豊橋観光コンベンション協会、市内自転車関係事業者
				サイクルピット維持管理	引き続き、維持・運営を行い、自転車の利用環境向上のためのスポットづくりに寄与する。	豊橋市(健康増進課、都市交通課)、(株)エコーとよはし(施設管理者)、(株)道の駅とよはし、コンビニ
				工具ステーション維持管理	令和3年度に設置完了。維持管理を行う。	豊橋市(観光プロモーション課、健康増進課)、(株)エコーとよはし(施設管理者)、(株)道の駅とよはし
	情報提供	サイクリング・ポタリングコースの情報提供 レクリエーション・観光情報の情報発信	行政 民間団体	サイクリングマップの増刷 デジタルサイクリングマップの整備	サイクリングマップ5000部を増刷する。 ●ライトユーザーをターゲットとしデジタルサイクリングマップを整備することで、サイクリングルートやスポット情報を掲載するとともに位置情報が分かるようになるため、サイクリングしやすくなる。また、サイクリングイベントによりデジタルマップを周知する。	豊橋市(都市交通課)
				東三河のアウトドアスポーツ情報を集めたWebサイトの整備	●東三河のサイクリング、ハイキング、トレッキング、パドリングの様々なルートや、訪れる方々をサポートする施設等の情報を発信するWebサイト「Outdoor Route(アウトドアルート)」を愛知県東三河広域観光協議会と共同制作する。	愛知県、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町及び豊根村、愛知県東三河広域観光協議会
				サイクルトレインPR(再掲)	●サイクルトレインをはじめ、サイクルピットや豊橋駅前の組立スペース、道の駅とよはしのレンタサイクルなど、サイクリストの受け入れ環境が分かるチラシやポスターを市内の自転車店、観光案内所等に配付し、利用環境を周知する。 A4チラシ12,000部 B2ポスター200部	豊橋市(都市交通課) 田原市 豊橋鉄道
災害	意識啓発	災害時を想定した日常での自転車活用の推進	行政	災害時の自転車活用に向けた環境整備	市民向け防災講座で、非常時の交通手段は各自で常に検討するよう啓発する。	豊橋市(防災危機管理課、都市交通課)
	支援・補助	災害時などの自転車の整備点検	行政 企業	-	-	-
	情報提供	防災啓発資料への自転車活用情報の提供	行政	-	-	-
その他			行政 民間団体	「環境フェスタ」などでの自転車の提供	「530環境フェスタ」で自転車を抽選で無償提供する。	豊橋市(収集業務課) 530運動環境協議会
				豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進(再掲)	●引き続き条例の周知を図っていくとともに、自転車の交通事故が多い世代である高校生の交通安全対策をより推進するため、市内の高等学校で交通安全モデル校を定め、行政・学校が一体となって交通事故削減のための取り組みを行う。 ※豊橋西高等学校が豊橋警察署の委嘱を受け、自転車安全利用モデル校に指定された。 今後の活動予定として、登下校時の自転車安全利用啓発活動や校内放送での自転車安全利用の声掛け、ラジオ放送での啓発活動の実施を予定。ヘルメット着用促進に向けた取組みでは、学校全体でのヘルメット着用モニター生徒の募集、PTAと連携したヘルメット着用啓発の実施を予定。	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店

通行空間

○ 実現したい将来の姿

- 市内の中学校、高等学校、大学、企業、店舗などに安全・快適に移動できるようになり、自転車事故の減少や過度な自家用車からの転換が期待できます。
- 鉄道駅などに安全・快適に移動できるようになり、自家用車での送迎などが減少します。
- レクリエーションや観光、健康づくりなど、余暇で自転車を利用しやすく、楽しみやすくなります。

駐輪環境

○ 実現したい将来の姿

- サイクルアンドライドがしやすくなり、鉄道駅にアクセスする際の移動手段として、自家用車利用から自転車への交通手段の転換が期待されます。
- まちなか駐輪環境が向上することにより、中心市街地に自転車で訪れやすくなり、まちなかのにぎわい向上が期待されます。

※表中の●は新規事業内容を対象

令和4年度実施予定事業					事業実施関係団体
基盤	施策	関係団体	事業名称	事業内容	
【通行空間】の整備	安全・快適な自転車ネットワークの整備	行政	自転車通行空間の整備 (豊橋市(道路建設課))	改定した整備計画による自転車ネットワークの整備を行う。 上传馬町・西小田原町1号線 (矢羽根) L=280m 八町通5号線ほか (矢羽根) L=640m 神明町・向山大池町1号線 (矢羽根) L=329m 野田町・羽田町1号線 (自転車通行帯) L=370m 上記路線を整備予定。	豊橋市(道路建設課)
			自転車通行空間の整備 (愛知県)	大岩中原線 (自転車通行帯) L=708.8m 中野町線 (自転車通行帯) L=497m 田原豊橋自転車道線 (自転車道) L=119.3m 上記路線を整備予定。	愛知県(東三河建設事務所 道路整備課)
	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	行政	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	●自転車ネットワーク路線に位置付けがない自転車通学生徒が50人以上の中学校通学路で通行区分ごとの自転車交通量の調査を行い、通学状況を確認する。	豊橋市(都市交通課、道路維持課、学校教育課)、豊橋警察署、関係中学校、関係校区自治会
【駐輪環境】の整備	サイクルアンドライド駐輪場の整備推進	行政 企業	駐輪場の整備	●渥美線南栄駅北側用地に駐輪場を整備し、利用者の利便性向上を図る。 30台ほどの駐輪場を整備する予定。	豊橋鉄道 豊橋市(都市交通課)
	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政	自転車等駐車場管理運営事業	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社)